



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.20

平成25年 冬号

新 年 の ご 挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 石川 浩



新年あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートは法人化して昨年10周年目を迎え、本年から新たな10年に向けて活動を開始することになります。このような節目の年に、影山前会長の後任として突如、会長を務めることとなりました。これまで中小企業の皆様をはじめ、九州経済産業局、福岡県、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構をはじめ多くの関係団体、および大学、高専、等々の皆様のご支援の下、会員全員で積み上げてきました実績をバネに今年も成果を上げるとともに活動の場を更に広げていきたいと考えております。

昨今の厳しい経営状況の下で、中小企業の皆様にどのようにお役に立つことが出来るのかを常に考え活動の場を広げ対応していく所存です。一例として昨年は、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会殿との協働による「中小企業テクノフェア」における出展企業(川上企業)と地元企業(川下企業)とのマッチング事業の4年目を迎え、早期着手を始め関係先との密接な連携により従来以上の大きな成果を上げることが出来、関係先から好評を得ております。これも販売支援活動への実力がついてきた証であると自負しております。

また、(公財)北九州活性化協議会が中心となっており進めている「産業人材育成フォーラム」においてコーディネーターとして大学・高専の学生のインターンシップをはじめ、社会人ドクターを目指したチャレンジプログラムへ積極的に協力・参画し支援活動を展開して成果を上げており、本年も引き続き推進する予定です。このように従来の、技術開発に結びつく産学連携支援、特徴あるエコ商品(エコプレミアム認定商品・サービス)の販売促進支援、環境経営や環境技術の構築・導入支援、エコアクション21の普及や産学連携、etcに加えて支援活動範囲を広げ、産業振興とまちづくりへ微力ながら貢献していきたいと考えております。

関係諸機関の皆様のご厚情に深く感謝を申し上げますとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。今年も震災・原発事故からの復旧に力を合わせ、新たな成長へつなげていきましょう。

Topics.1 新規事業の紹介

北九州産業人材育成フォーラム支援

■北九州産業人材育成フォーラムの2年目の

終盤を迎えてKTSへの期待が増大！

平成23年度からKTSとして支援・協力を行ってきました「北九州産業人材育成フォーラム」が2年目も終盤を迎え、平成24年度は昨年の北九州市立大学国際環境工学部と九州工業大学を対象にした「長期インターンシップ事業」に、更に西日本工業大学と北九州高等専門学校を加え4校となりました。

地域の受入れ企業数は63社(H23:42社)、エントリー学生数も130名(H23:59名)となり、昨年の実績に比べて企業数では5割増、受入学生数は2倍強の実績を上げる事が出来ました。

平成25年度は、学生のインターンシップへの参加が益々活発化することが見込まれており、KTSの本事業に対する役割並びに貢献が大いに期待されています。

また、九州工業大学が推進する「社会人プログラム」も2年目を向かえ、新年から北九州地域企業群に対して支援活動が開始されます。

北九州テクノサポート 創立十周年記念

北九州テクノサポートは法人化して10周年を迎え、これまでの活動状況を振り返ると共に、これからの新たな10年に向けて取り組むべき課題や取り組み姿勢・やり方等々について、理事全員でフリーディスカッションを行い、これまでの仕事の進め方なり、業容範囲の問題、業務フロー&ネットワークの構築、並びに知名度の向上と新規会員獲得などなど、5つの課題が提起されました。(詳細は本誌Topics3に掲載)

提起された課題はこれからのKTSの行動指針として将来に当を得たものであり、「北九州テクノサポートの行動指針」として理事会にて設定され、その課題解決の具体化について議論がおこなわれ、各課題毎に検討推進チームを編成して推進していくことが審議されました。チーム編成には広く会員の皆さんの参加を呼びかけ、出来るだけ多くの会員の方々の意見なり、提案なりを取り入れて、今後のKTSの業務展開・拡大へ繋げていくように考えております。

まだ緒についたばかりですので、会員の皆様の積極的な参画をお願いする次第です。各推進チームリーダーは、本誌Topics3に掲載の通りですので是非、ご連絡並びに検討推進チームへの参加申込みをお願いいたします。

謹賀新年

平成二十五年 正月 理事一同



会 長 石川 浩
事務局 長 小林敏郎
副会長 重藤将美、安東 静、藤原利久
理 事 小川 勝、影山隆雄、藤原成種、堤 増美
石井 剛、山本倬暉、松隈 齊、吉開 悟、白井 堯
監 事 後藤禎二、竜口康文



新年の挨拶



平成25年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治 新年あけましておめでとうございます。

本市は今年2月に市制50周年を迎えます。昭和38年2月、5つの個性を持つ都市が対等合併し、同年4月には政令指定都市となりました。

合併によって、都市インフラの整備が進むとともに、公害克服、高齢化対策や子育て・教育・地域コミュニティの活性化など様々な分野で、市民、企業、行政が一丸となって先駆的にまちづくりに取り組んできました。

そして、環境先進都市として国内外の高い評価を受け、欧米など34か国が加盟するOECD（経済協力開発機構）からも「グリーン成長モデル都市」に選ばれました。今春には加盟国にレポートが配布され、本市一丸となった世界の環境首都へ向けた取組みの成果が発信される予定です。

市制50周年を祝う記念事業については、市民の皆様の意見・提案も活かしながら取り組むこととしており、市民・産業界と行政が一体となった市民太陽光発電所建設や、市民自らが企画・実施する「市民公募50事業」など、様々な記念事業を展開します。また来年2月には、記念事業のフィナーレとして、北九州市としては初のフルマラソンも開催予定です。

今年は新成長戦略を策定して新たな雇用を創出し、元気で活力あるまちをつくりまします。

また、高齢者の健康づくり・生きがいづくりと街中の緑を増やすことを目指した「まちの森プロジェクト」、高齢者などの見守り・支援体制を強化・充実する「いのちをつなぐネットワーク」、地域が主体となって取り組む健康づくり、スクールヘルパーの拡充や経済界と連携した学校教育活動など、高齢者・子育て・教育施策の一層の充実を図り、日本最大級の響灘ビオトープによる市民と自然とのふれあいを推進します。

さらに、災害対策の強化、防犯など安全・安心なまちづくりに全力で取り組む一方、まちのにぎわいづくりを進めていきます。

次の50年に向かって新たな一歩を踏み出し、わが街北九州の未来を共に創ってまいりましょう。

新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社 安川電機 代表取締役会長 利島康司 【北九州商工会議所 会頭】



新年あけましておめでとうございます。

東日本大震災からの復興長期化、円高・株安、一般の欧州経済不安や中国情勢といった諸問題も依然としてございますが、昨年は私たち企業、行政、そして各団体など北九州市民が一体となって北九州市の活性化に情熱を注いだ年だったと思います。

安川電機は2015年に創立100周年を迎えますが、このような激動の時期だからこそ、お客様に喜んでいただける技術を磨き、国内の需要を一層喚起して、北九州市から日本全体をますます元気にしていきたいと思っています。

昨年は街のにぎわいづくりに精力的に取り組む、北九州市が世界に誇るモノづくりの歴史と技術を観光資源にした「産業観光」を推進しました。全国各地から多くのお客様に北九州市の工場見学や名所旧跡を訪れていただき、安川電機にも大勢の方が工場見学に来られました。

また、10月には全国商工会議所女性連合会北九州大会や日本青年会議所全国大会、そしてご当地グルメB-1グランプリ全国大会などの大きなイベントが相次いで開催され、日本全国から多くのお客様が北九州市にお集まりいただき、大いににぎわいました。訪れた大勢のお客様からは、観光資源として世界に誇る産業群、また北九州市民のとても温かいおもてなしに接し、北九州市を高くお褒めいただきました。

今年は北九州市制50周年の大きな節目の年です。北九州市の産業の発展と、人が集い活気のある元気な街へと一層の飛躍を目指して活動していきます。最後になりましたが、北九州市にとって、そして北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2013年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。

■TOTO株式会社 代表取締役 副社長執行役員 伊藤 健二 新年明けましておめでとうございます。



新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、日本経済は東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復の動きがあるものの、先の衆議院の解散選挙により、再び政権が交代し、政局が安定しない中、解決すべき課題はいまだ山積みしています。真の震災復興への道筋、最適なエネルギーミックス策定による原発の未来、デフレ脱却による経済回復、また外交上でも、TPP参加の是非、隣国との領有権問題など取り組み課題は累積しており、舵取りの難しい局面が続いています。世界経済でも、欧州発の金融不安、中国バブル景気の調整、新興国へのシフトなど、踊り場的な状況が続いています。

そのような中、当社は創立100周年を迎える2017年の目指す姿と戦略フレームを示した長期経営計画「Vプラン 2017」のもと、その確実な実現のため中期経営計画を策定し、着実に歩みを進めています。国内では、リモデル事業が好調に推移するとともに、新築向けも比較的堅調です。海外事業では、米国の住宅市場も回復基調にあり、心配されている中国市場も、一時的な落ち込みは予想されるものの、長期的には今後も需要拡大が見込める市場と位置づけております。またこのような時期にこそ、外的要因に左右されない強い企業体質を目指し、ものづくりやサプライチェーンなどの革新活動も全社横断的に取り組み、成果が出つつあると実感しています。

地球温暖化やエネルギー不足などは世界規模で一段と深刻になっており、企業の技術革新の力はさらに重要性を増しています。弊社は、節水便器をはじめとした環境に直接貢献できる商品の開発はもとより、事業活動そのもので省エネ・CO₂排出量の削減など環境貢献を推進していきます。北九州市も環境モデル都市として、その取り組みを進めており、北九州テクノサポート会員の皆様も多方面にわたる技術分野でその一役を担ってられます。皆様のお力をもって、北九州を盛り立て、真に持続可能な社会の実現に向け、会員企業皆様が一層飛躍する年にならんことを心から願っております。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.20広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理 プラスチックリサイクル 溶剤リサイクル



貴社の廃棄物のリサイクルの可能性を調べてみませんか？
簡単なQ&Aですので、お気軽にお試し下さい。

高野興産株式会社

本社 北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-2790
北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19

URL: <http://www.takano-k.com/>

新春随想



平成25年 新春随想 財団法人北九州産業学術推進機構 中小企業支援センター長 秋成宏治 新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃より「公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)」の事業にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

我が国の経済は、長引く海外経済の停滞と一昨年来の欧州、中国経済の影響を受けて減速傾向にあります。また、電力供給の不安や国内需要の低迷など中小企業を取り巻く情勢はますます厳しさを増しています。

一方、平成23年12月に北九州市は、国の「環境未来都市」「グリーンアジア国際戦略総合特区」に選定され、低炭素社会の実現や超高齢社会への対応に向けた取り組みを進める環境が整いつつあります。

こうした取り組みを支えるには、これまで蓄積された環境技術等を活用した新技術の創出・実用化などが必要となります。

FAISでは地域振興の頭脳となるべき知的基盤を整備し、新産業の創出や地域産業の高度化を目指して、学研都市進出大学等の研究シーズと地域企業などのニーズをつなぐコーディネート活動や産学連携による研究開発への助成、研究成果の事業支援、中小企業の経営力強化などに取り組んでいます。

特に、中小企業の様々な経営課題を解決するための支援を強化するため、市内製造業の技術力アップや「ベンチャー」「環境」「自動車」を切り口とした中小企業支援機関のネットワーク化を進めるなど、地域産業の発展のため引き続き全力で取り組んで参ります。

平成25年が地域の皆様の新たな飛躍に向けた素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

■日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 児玉 幸信



新年あけましておめでとうございます。

私共、日産自動車九州株式会社は、2011年10月に新会社として事業をスタートし2年目を迎えます。改めてこれまで支えていただいた地域の皆様方に感謝申し上げます。

日産自動車九州は、昨年8月に新型セレナ(S-HYBRID:スマートシンプルハイブリッド)を発表し、9月には新型ノートを発表いたしました。日産九州は、日産生産方式(NPW)により、多様化するお客さまの要望に柔軟に対応し、コストパフォーマンスの高い、確かな品質のクルマをお客さまへ約束通りの短い納期でお届けする事を目指しています。

また、敷地内には専用埠頭があり、日産九州で生まれたクルマは国内のみならず世界中のお客さまに送り出しています。そこには一人ひとりの創意から生まれる工夫や改善が活かされ、深い愛情が生産されるクルマの随所に注ぎ込まれています。

最後になりますが、日本のモノづくりが、今後もグローバルに日産のモノづくりの中心的役割を果たしていくためには、高級車や電気自動車など付加価値の高いクルマだけではなく、小型車も日本で造れるような更なるコスト競争力を持つ生産拠点を生み出していければ、国内100万台レベルの生産が可能となります。

円高や新興国企業の台頭など取り巻く環境は厳しい中、九州はアジア圏をリードする量産工場、輸出拠点としての役割を担うため物流費などを含めた総生産コストの最適化を実現させていきます。

本年も引き続きご指導ご鞭撻をお願いし新年のご挨拶とさせていただきます。

■西日本産業貿易コンベンション協会 専務理事 三坂敏弘



新年明けましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポート会員の皆様には、日頃から当協会の事業に多大なご協力ご支援を頂いていますことを、新年の冒頭に改めてお礼を申し上げます。

昨年は、北九州市にとっては市制50周年の前年ということで多くの大型イベントが実施されました。

ご当地グルメB-1グランプリをはじめとした全国規模のイベントは皆さんのご記憶にもまだ新しいことと思います。これらイベントの数々は、にぎわい創出はもちろんですが、全国に北九州市の素晴らしさを発信できたのではないのでしょうか。

このような大型イベントが実現したのも、西日本総合展示場と国際会議場というコンベンション施設の充実が大きく寄与しているものと思われま。

当協会は、この恵まれた施設環境を生かし、積極的な誘致活動と効率的な管理運営で市のにぎわいづくりに努めています。

今年は、いよいよ本年番の年です。巳年に因んで、「蛇腹」のように伸縮自在の柔軟な経営に心掛けたいと念じています。年の初めに、欲張ってもう一つ念じたいことがあります。協会主催事業の一つである「中小企業テクノフェアin九州」です。当協会の使命である地域産業の振興、とくに中小企業振興の旗艦的展示会でもあります。

中小企業にとっての販路開拓や企業活動の活力となることを理念に今年も頑張りたいと思っています。近年、ものづくり産業系展示会の評価は、ビジネスマッチングの内容にあると言っても過言ではありません。

ご蔭様で、貴法人によるきめ細かいサポートは、「ここまで親身になってくれる展示会はない」という顧客の声に象徴されているようです。

さらに、「北九州テクノサポートコーディネーターによる目的を持った来場者数」は年々増加しています。

どうぞ、本年も当協会にお力添えを頂きたいと心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員の皆様にとってよき年となりますことを心から祈念申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.20広告3-4



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5

TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>



地球温暖化対策、CO₂削減を目的として
環境緑化「2度減システム」を推進します！



REGISTERED ORGANIZATION EMS Accreditation No.E472-ISO14001

ISO 14001 認証取得

代表取締役

渡 邊 健 司

Kenji Watanabe

カースル 株式会社

URL:<http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

新春随想



平成25年の新春随想 福岡県 商工部 新産業・技術振興課 課長 田代 裕靖

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、平素から本県産業の振興にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。昨年は、欧州の財政・金融危機から続く世界経済の減速や、円高による輸出の低迷、電力供給不安など、日本経済や企業経営にとって非常に厳しい年となりました。

このような中、産業の空洞化を阻止し、生活の基本である雇用の確保と県民生活の安定・安心を図っていくためには、やはりグローバル競争に勝ち抜く卓抜した技術や技能を基盤とした「モノづくり」を大切にすることが重要であります。

北九州テクノサポートの皆様におかれましては、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」という理念のもと、本県経済を力強く引っ張っていただき、ひいては日本を元気にする大きな推進力となられますことを心から期待しております。

県としても、地域企業の皆様が、持ち前のモノづくり技術に一段の磨きをかけられ、付加価値の高い製品を数多く生み出していただけるよう、今後とも積極的な支援をしてまいりたいと考えております。

本県では、平成23年12月、北九州市、福岡市とともに「グリーンアジア国際戦略総合特区」の指定を受けました。本制度は、環境を軸に、わが国のグリーンイノベーションを先導することで、成長著しいアジアの活力を取り込み、アジアと共に成長、発展していこうとするものです。

県としても、北九州市としっかり連携して、この特区制度を大いに活用し、地域産業の競争力を強化してまいります。今後とも皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

今年は、巳年。蛇は脱皮を行いますので、「再生」という意味があるそうです。北九州、福岡、そして日本が再生に向けて大きな一歩を踏み出し、皆様にとりまして、さらなる飛躍を遂げる年になりますよう心からお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 松永 守 央



新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災からの復興が遅々として進まず、超円高や電力料金の高騰リスクなど経済的な指標に好材料が少ない状況で、新政権にはデフレ脱却と日本経済再興の抜本的な政策を期待したいものです。しかし、国頼みでは地方の成長は望めません。

グローバル世界という厳しい環境では、現実を直視した成長戦略を着実に実現する姿勢こそが地方に求められます。北九州市とその周辺地域は、百年以上に亘って蓄積した世界に冠たる技術と魂があり、これを如何に活かすかが問われています。

産業と技術が集積した環境未来都市の経済を向上させるためには、既存産業の融合による市場の開拓と、新産業の創出と誘致が必要です。そのためには、今こそ日本型の産学官連携の手法を確立する必要があります。この地を愛する人達が集まっている北九州だからこそ、情報を共有する産学官を越えた組織やネットワークが形成できるはずです。

個々の組織がすべての機能を持つという非効率な経営を排し、経済振興や都市機能を改善するための機能集団に多くの組織が参画し、地域を良くする活動を産学官が協力して遂行できれば、地方から経済振興が実現できるチャンスが増します。

九州工業大学は多様な産学連携や研究力強化の態勢の整備と人材の充実を図ってきましたが、単独で実現できる限界を感じています。人材育成も、技術の高度化も地域ぐるみで実現しなければならない時代を迎えています。その成果が住みやすい街、人が集う街に繋がるはずです。新年は、このような時代の始まりになればと願っています。

NPO法人北九州テクノサポートの皆様のご協力をお願い致します。

北九州市立大学

副学長 梶原 昭博



新年おめでとうございます。

昨年1年間を振り返りますとエネルギー問題や老朽化した社会インフラ、超高齢化社会への対応など我が国の将来に対する様々な問題が顕在化しました。また国力低下と空転する政治に虚を突かれた形で領土問題も噴出しました。このような国内情勢の中で年の瀬が迫った昨年末に総選挙が行われ、3年3ヶ月の政権に対して国民の審判が下り、新たな政権の元で新年を迎えることになりました。多くの理想を掲げてスタートした前政権は理念崩壊による国民の不信感を払拭しないままで退場しましたが、新政権には国内景気のテコ入れと社会インフラ整備を最優先に取り組んで欲しいと思います。

さて世界経済減速に伴う外需減退や円高、デフレなど悪循環が懸念される中で、就職難や非正規雇用などは学生の夢や希望を失わせる原因となっています。資源を持たない我が国が経済を早期に復興し、子供達が将来に希望を持てるような社会を取り戻すためには、国際力と想像力豊かな技術者や研究者のこれからの活躍が重要になります。このような厳しい社会情勢だからこそ、夢を持ちながら世界中どこでも活躍できる優秀な技術者や研究者を育成し、そして社会に送り出すという大学の使命をさらに強く感じています。まさに昨年10月のノーベル医学生理学賞受賞は、学生だけでなく子供達にも大きな夢と希望を与えてくれたと思います。

本学国際環境工学部は昨年3月に環境技術研究所を創設し、学部創設10周年を迎えましたが、今年は学際的・先端的研究拠点形成とグローバルで活躍できる技術者育成という10年後を見据えた新たなビジョン実現に向けてスタートしたいと思います。また市立大学として引き続き地元の産業発展に向けて取り組んで参りたいと願っていますので皆様のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS通信Vol.20 広告5-6



株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。



水辺の環境を浄化する
水草ポット
2000年・福岡産業デザイン賞優秀賞を受賞した。



水質浄化効果を持つ環境保全型
腰岸ブロック、チャコケン
あさひ財団・日刊工業新聞社主催
第12回中小企業優秀新技術・新製品賞で、奨励賞を受賞した。

代表取締役 神垣 三次

<http://www.kamigakigumi.co.jp/>

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

当社は省エネ型電子安定器の開発メーカーです。
照明の明るさを落さず35%~50%の省エネが可能な商品を取り揃えております。

低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!

またハロゲン代替用LED電球も販売開始しました。



蛍光灯の省エネに
ネオロックスP



ハロゲンの省エネに
LEDビームランプ

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141 <http://www2e.biglobe.ne.jp/~neolux>

Topics.2 ビジネスマッチングの推進と成果

中小企業テクノフェアin九州2012

担当 藤原利久 理事

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会と称す)より「中小企業テクノフェアin九州」のビジネスマッチング(以降BMと称す)受託事業は2009年の試験事業から今年で4年連続となり、協会・出展企業・KTSの三人四脚で様々な課題を克服し、毎年、BMの実力が十分でないことを実感しながら地道に成果を上げてきた。表1に実績を示すが、今年は与えられた目標水準を大きく超える実績となった。

今年は東北仙台市の企業7社が出展する計37社の展示会となった。早期活動、広域・異業種企業、商品理解強化活動等新たな取組を行い、訪問企業数、来場企業数や商談・面談企業数は従来の約2倍であり過去最高実績である。対受託予算比の実績はさらに高い。

これも偏に、協会の強力なご支援のお陰は勿論、製造企業のOBであるKTS会員の中小企業や地域活性化への献身的な活動のお陰も非常に大きく感謝でいっぱいである。

今年は北九州市制50周年である。新たな気持ちで、「更なる大きな飛躍にむけて」、広域・異業種間協働やBMの実力強化も行い、KTS内協力と議論も重ねて、更に少しでも中小企業や地域に貢献するため、もう一つ上の活動を目指したい。協会・出展企業は勿論、北九州市・商工会議所・他団体との協働により新たな飛躍を目指したい。皆様のご協力とご支援を！



表1 「中小企業テクノフェアin九州」の実績(除く2009年試験事業)



■KTS会員がマッチングコーディネートする情景

	目標水準	2012年	2011年	2010年
出展企業数(社)(除く団体)		37	36	29
協会アンケート	出展者満足度%	57	57	56
	出展の感想%	83	86	74
	次回出展の希望%	66	48	56
訪問企業数(社)		100	46	108
来場企業数(社・人)	45社	72・119	39・60	47・72
商談・面談件数(件)	50	100	48	53
コーディネーター数(人)		12	9	16
受託予算比(2010年=100)		27	19	100

注：2010年は(独)中小企業基盤整備機構の支援事業受託

エコアクション21地域事務局福岡の活動状況

エコアクション21地域事務局福岡 理事 事務局長 藤原成種

- (1)北九州市と福岡県とは協同して、年4回エコアクション21実践講座・集合コンサルティングを実施しています。
事業者からは、受講の機会が増えたと喜んでいただいています。
40社近い受講者が受講し、認証・登録へと研鑽を積んでおられます。
- (2)昨年度から北九州市長感謝状付与制度が発足しました。エコアクション21認証・登録事業者で市内事業者の中から、他の事業所の模範となる成果をあげられ、かつ環境経営に取り組んでおられる事業者を、「環境にやさしい事業所」として市長から感謝状を授与し、その取組内容等をHP等に掲載することにより、市民や他の事業者に対して広く紹介する制度です。
今年度は、(有)アリタサービス、宮田建設(株)及びサンエス工業(株)の3社が受賞事業者として感謝状を授与される栄誉に輝きました。
- (3)エコアクション21認証登録事業者がいかに認証を維持継続してゆくかが、大きなテーマになってきています。
認証取得事業者に対するフォローアップ研修会を実施する必要性が従来にも増して急浮上してきました。
今年度中に実施すべく鋭意検討準備中です。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.20広告7-8

株式会社西井塗料産業
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD.
<http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて
産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号
お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください
☎092-415-4518 ✉eigyoku-bu@nishii.co.jp

株式会社メタルテック
Metal Wet Panel

金属製品、外装のメンテナンス
光が当たらなくても、親水性発揮!!
雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp

Topics.3 「北九州テクノサポートの行動指針」を設定

「KTSの行動指針」の設定と具体化に向けて

NPO北九州テクノサポート(KTS)の法人化10周年を迎えるに当たり、これまでの活動を振り返ると共に、これからの新たな10年に向けた取り組み課題につき、理事による座談会を行いました。(「創立10周年記念誌」参照)そこで提起された参加者の思いを集約すると下記5項目になり、これをKTSの行動指針とすることにしました。



その具体化のために各課題毎に検討推進チームを会員を交えて結成して推進していくことが11月の理事会に提案されて、実行に入っております。

1. 北九州テクノサポートの行動指針

(1) 中小企業への直接支援活動の強化

これまで実績としてはありますが、より積極的に幅広く、開発支援だけでなく、販売支援からIT活用等々による中小企業内の課題の発掘・解決を図っていく。



(2) 受身からの脱却

これまでは主に国・県・市並びに公的機関等からの依頼や委託等の受身的な対応が多かったが、今後は積極的に提案型でプロジェクトを創出していきやり方を展開する。



(3) 知名度向上と新規会員の確保

公共機関などの広報誌へKTS紹介記事の掲載、公的な人材センターなどへKTSの紹介、出身企業の人事部門にKTSの説明会を申し入れるなど。



(4) 支援業務フローとネットワークの構築

KTS会員の資質を活用した各種ネットワークの構築、公認会計士・税理士など文系人材をネットワークへ組入れる。



(5) EA21登録企業の拡大

- 1.普及活動:認証取得者数増を図るため、当地域事務局の目標は、全国の認証取得事業者総数の3%に設定する。
- 2.EA21従事者の力量向上: ①判定委員の力量向上(判定委員会審議内容の充実) ②審査人・事務局職員の力量向上研修。
- 3.事業者サービス:地域事務局より審査申請時期の案内・督促並びに最適審査人の選任等。また、審査時の審査人による適切な指導・助言等で、特に必要と思われる審査中の指導・助言を強化する。



2. 各課題毎の検討推進チームと進め方

- (1)リーダー;重藤 理事、サブ;堤 理事、小川理事
- (2)リーダー;山本 理事、サブ;白井理事、藤原(利久)理事
- (3)リーダー;安東 理事、サブ;小林理事、石井理事
- (4)リーダー;松隈 理事、サブ;安東理事、吉開理事
- (5)リーダー;藤原(種成)理事、サブ;小川理事、松隈理事

検討推進チームの具体的な進め方は、まずは会員から広く参加者を募集して、内部打合せを開き、参加会員各自の意見を聴取し議論を重ね、課題の分析・検討を行い課題解決の対策案などを検討・提案を行う。その結果がある程度纏まった段階で、理事会等でプレゼンテーションを行い審議していただく。理事会で審議次第、即実行に移すものは、KTSとして実行に移していく。

是非、会員の皆さんの積極的な参画並びに前向きな提案とご意見を期待しております。

NPO-KTS 会長退任 ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、一身上の都合により、NPO法人北九州テクノサポート(KTS)の会長と産学連携支援グループ長を退任することになりました。昨年7月に前会長の後を受けて1年余りの急なことで、皆様には大変にご迷惑をお掛けすることになりましたことを深くお詫び申し上げます。

短い期間ではございましたが、北九州市や福岡県、地域企業をはじめ関係機関と会員並びに賛助会員の皆様のご支援のお陰で発足から10周年を迎えたKTSの次のステージに向けた準備に僅かではありますが携わらせていただきました。皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。

私は、九州工業大学が地域貢献・産学連携強化のため新たに発足する研究者支援組織であるリサーチ・アドミニストレーション・センターの立上げに全面的に従事することになりますが、KTSの理事としては残りますので、引き続き皆様のご指導とご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

理事 影山 隆雄

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞

NPO-KTS通信Vol.20広告9-10



おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014
千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
http://www.chigusa.co.jp



製品情報

- レベルメータ
- レベルスイッチ
- 粉体測定機器
- コンベヤ周辺機器
- 制御機器
- アクチュエータ

代表取締役社長 松島 徹

株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831
■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735
■http://www.matusima.co.jp



■完全国産化した、
パルスレーダー式マイクロ波レベル計

中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

■産学連携支援活動

Gr.長 石川 浩

(1) 北九州地域産業人材育成フォーラム事業への積極的な支援

北九州地域が持続的な発展を続け、競争力ある企業、成長力ある産業、活力ある地域を目指して、大学・高専の教育分野と産業界・地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していくフォーラム事業へ積極的に支援してきました。昨年は、「長期インターンシップ事業」のコーディネーターとして従来の九州工業大学、北九州市立大学に西日本工業大学、北九州高専が加わり4校について対象企業選定から企業と学生のマッチングを行った。本年も更に希望学生の増加に対応すべく準備を進めている。更に、九州工業大学から大学院工学府の「社会人プログラム」への企業ニーズの調査を大学と協力して進めており、本年も昨年に引き続き実行中です。

(2) 福岡ものづくりアドバイザー事業

この事業の登録アドバイザー13名のうち10名がKTSの会員であり、県内ものづくり企業の基盤技術・技能分野で指導経験のある人が課題解決の支援をしており着々と成果が上がりつつあります。昨年は依頼企業10社に延べ23回派遣し指導助言を実施して来しました。

■ISO/EA21支援活動

Gr.長 小川 勝

1. 企業支援及び普及活動

北九州市・福岡県とエコアクション21地域事務局福岡の共催によるエコアクション21導入セミナー(7月25日、8月24日)が開催され講師及びカウンセラーを派遣した。

2. 国際協力

(公財)北九州国際協力協会の発展途上国研修に協力して、ISO14001について講演を実施した。

3. 環境に関する内部監査員養成研修をY企業の要請により、出前セミナーを実施した。

4. エコアクション21審査人研修

エコアクション21の審査に際し、「事業者のお役に立つ審査の在り方」相互研修、エコアクション21で取り組むべき環境目標の事例集編纂に関する協議を12月15日に行った。



■販売支援活動

Gr.長 山本倅輝

平成22年7月にグループ発足以来、中小企業テクノフェアへの参画によるビジネスマッチング事業も3年目を迎えて、年々販売支援の実績が上がって今年は昨年の1.4倍の費用を計上して頂きました。

一方他の販売支援活動ではブラッシュアップサポート事業の一環として、現在一社に対応していますが、良い事例として成果を上げるべく取組んでいます。結果によっては、今後の販売支援活動の大きなPRになるのではないかと思います。

■IT支援活動

Gr.長 安東 静

中小企業等へのIT支援事業として、ホームページ新規作成支援をしていた小倉北区の中小企業及び公的NPO法人のホームページに関する支援をしました。ホームページの新規作成支援は、全てを含め5000円/ページ以下の格安です。その他、Excelを活用した業務改善支援等もいたしますので、当NPOのIT支援Grに、ご相談ください。

北九州地域のモノづくり企業の紹介 ■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.20広告11-14

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



新製品賞
'99中小企業
優秀技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞



■北九州市八幡東区西本町4-5-1

TEL:093-681-7195 / FAX:681-7196

E-mail:pd-otsuji@daiso.bz

URL <http://www.daiso.bz/>

口ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で 世界をリードする金型専門メーカー



Uchida Co., Ltd.

株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38

TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6

TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail: info@uchidanet.co.jp

URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我社は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス

代表取締役 三重野計哉(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 TEL:093-291-1778 Fax:093-291-2728

E-mail: info@wks-co.com <http://www.wks-co.com>



ミーム
(末夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231

FAX:093(641)2010

<http://www.keisokukensa.co.jp>

カースル株式会社

12月5日、堤、重藤理事が同社本社を訪問、渡邊社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況

会社設立は昭和45年(1970)で、建材用人造大理石の製造でスタートしたが、程なく日用品製作に転身し、手始めに換気扇カバーの製作販売を始めた。



以後フィルターが主力製品となり換気扇はもとよりレンジフード、空気清浄機等に対応した各種フィルターを開発・製造・販売している。特に差別化技術としてフィルターの不織布をペットボトルから自製されており、フィルター表面に接着剤を塗布し花粉や埃を吸着させたり、プラスチックフレームを伸縮自在にしたり、紙を折り曲げて簡単にできる安価・軽量フレームを考案され、最近では、マルチ空気清浄機「スモークバスター」(タバコ煙吸取りやキッチンの油煙をレンジフードへ誘導して排煙効果をアップさせる等、用途に応じてフィルタ部が組み換え自由構造の空気清浄機)を開発されており、次々とアイデア商品を送り出し、業績は堅調に推移している。

■今後の展開と課題

雨水を飲料水に浄化する企画構想を紹介された。

雨水の膜浄化は地下水に比べ有害溶解物質を含まないことから、辺境地での飲料水確保には手軽で安全性が高いと語られ、膜技術を研究されての製品化が期待される。

(リカルド(Re軽土)を利用した「自然薯栽培キット」は夏場のカーテンが終わり、丁度収穫期を迎えており、帰りに自然薯の土産をいただいた)



スモークバスター

■KTSへの期待

今後ともKTS(北九州テクノサポート)には製品化に当たり、課題技術等について相談したい。支援をお願いしたい。

◇会社概要

■本社・工場 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212
代表者 代表取締役 渡邊健司 設立 昭和45年(1970)
資本金 2,000万円 従業員 約45名

■事業内容 レンジフード・換気扇フィルター、空気清浄フィルター、園芸用品、生活便利品、蛇口アダプター等の製造販売

URL <http://www.casle.co.jp>

株式会社 大 創

11月30日、吉開、重藤理事が同社を訪問、尾辻社長から懇切なお話をいただきました。

■会社の沿革と業況

会社設立は昭和49年(1974)、新日鐵(現新日鐵住金)株式会社に入社する商社マン尾辻啓志が創業・設立した。社名は「創造的な大きな仕事をやりたい」という想にちなんで大創と名づけた。



幸いにも、設立当初から八幡製鉄所との取引が出来、当初はめっきラインの周辺機器などを販売、金属・電機・石油化学関連の工業用計測器やボイラー、めっき用電極など取扱いを広げている。

本業の商社活動に加え、平成10年(1998)には小さい頃からの夢であるモノづくりにも進出した。

特筆すべきは、パッキン(ガスケット)を使わないガスケットレス(GL)フランジであり、フランジそのものを金属加工により、弾性体構造としている。産学官連携で開発に成功し、世界初の新技术で特許(USA1件、日本3件)を取得済みで、鉄鋼会社、化学会社に数多く採用されている。

■今後の展開と課題

アスベストが全面使用禁止となり、ガスケットレス(GL)フランジは、経年劣化の問題のあるパッキンを使わないので、半永久的に安定した配管継ぎ手の状態を維持でき省資源、メンテナンスコスト面でメリットがあり、又、有害・有毒な液体や気体の微小漏れの問題がなく環境問題にも大きく貢献する。

今後は難関の水素配管など水素時代での新しい展開も期待される。国内市場は、このところ日本経済の低迷による新設プラントの激減の影響を受けており、海外展開も視野に入れている。

■KTSへの期待

産学官連携の促進、公的機関の支援、販売支援など、モノづくりのまち北九州の特色を活かし、海外展開にも期待したい。

今後とも気軽に相談できる組織であって欲しい。



GASKETLESS管継手

◇会社概要

■本社 北九州市八幡東区西本町4-5-1 TEL:093-681-7195
代表者 代表取締役社長 尾辻 啓志 設立 昭和49年(1974)
資本金 1,000万円 従業員 5名

■事業内容 金属・樹脂・セラミックスなどの表面処理関連装置及び資材、石油化学品及び化成品、電子機器及び応用製品、各種測定器、省エネルギー製品、ガスケットレス(GL)フランジ

URL <http://www.daiso.bz/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これから本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
- (個人)入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口

■事務局だより “明けましておめでとうございます”

ご存知のとおり、昨年は創立10周年を迎え記念誌を発行することができました。これもひとえに関係者各位のご協力とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

これを契機に、新生KTSに向かい各支援Grの活動をより一層充実させるとともに、地域の皆様のお役にたつNPO法人となるべく努力することをお誓い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



《詳細情報は下記ホームページから》

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート
会報「北九州テクノサポート通信Vol.20」

平成25年1月10日 印刷発行

●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org